



イエローキャップ レポート

まちづくりアンケート続報

まちづくりアンケートでは52名の方からの貴重なご意見・ご感想が寄せられました。ご意見は、大きく4項目(まちづくり、商店街、行政、その他)に分けられました。今号では、まちづくりと商店街に対して寄せられたご意見・ご感想をご紹介します。

まちづくりに期待すること

今回の企画の最終目標が具体的にわからない。まちづくり事業について、行程表の提示を。ミニ二活性化の方が実現可能。基本計画の説明をもっとわかりやすくして。補助金・自己資金の程度が不明。パティオ事業は街区毎に業種を揃えるべき。十和田らしさ・素敵な街は大都市化することだけではないはず。発想の転換、意識の変革が必要。精神的ギャップが再開発事業のネックとなっているのでは。十和田は楽しむところがない。買い物に不便。若者の遊び場、ショッピング街がない。気軽に入れる店やくつろげる喫茶店がなく、街ブラができない。他市からの人に案内できるようなまちに。心がなごむまちづくりを。

十和田をイメージできるような開発を。昔の街並みを再現する。街を明るいイメージに。都会のおしゃれな商店を参考に。

住民として

開発に関しては住民の意見を最重点に考えて欲しい。託児所がない。一人でも安心して暮らせる高齢者集合住宅を望む。

商業施設に対する意見

大型店誘致と共に、住む人(高齢者)の場所も考えるべき。商業施設に住居も備えた高齢化社

会にマッチする複合型建物を。シャッターの閉まった店舗が多く、街を形成していない。大型店・核店舗があれば、他の専門店も生かせる。ジャスコが来ることによって街が変わる。後のことはその時解決すれば良い。

商店街の業種の充実を

飲食店街の重要性を認識すべき。南地区に大型食料品店が欲しい。ユニクロ、ファミレスがほしい。家族連れで来られる商店街に。若い世代をターゲットにしたまちづくり中央デパートの空店舗に若者向けの業種の入店者を募集する。

もっと個々の商店が自助努力すべき

自動車のない高齢者に対応できる店作りを。十和田市は住むにも商売にも適しているはず。街づくりはハード面の整備より先ソフト面の充実をはかるのが先。商店主の足並みが揃わずバラバラで一貫性がない。商店の明かりが暗い。閉店時間が早い。日曜日に休業する店が多い。これではお客は寄って来ない。空洞化も無理はない。

土日は全店営業するなど基本的部分からやらなければ何をやってもダメ

アーケード歩道の利用、駐車場の充実をアーケードの活用を。まちづくりには休憩所、無料駐車場は必須条件。歩道に椅子やテーブルを設置し休憩所に。歩道に市民によるフリマ、農産物などの露店。かつての市日を復活させる。

利用しやすい駐車場の設置を。バイパス開通後の4号線の活用方法として、個店前を駐車スペースに、歩行者天国、出店、秋祭りの夜間運行実施など

街路樹のクリスマスイルミネーション (南商店街)



とれたて! 商店街情報

商店街や個店の売り出し、イベントなどがありましたら、どしどしサポートセンターまでお寄せ下さい。皆さんの情報お待ちしております。

TEL FAX 25-6885
e-mail yellowcap@mx5.et.tiki.ne.jp
http://ww5.et.tiki.ne.jp/~yellowcap

まちづくり情報

200年 12月 18日
NO.13

発行・責任者
十和田市商店街
振興組合連合会
理事長 田中庸治

TMO構想策定に向け、大請めに

～第4回稲生町コンパクトタウン検討会～

11月26、27、29日の3日間、前回の検討会を受けて今回は南・中・北の三地区に分かれ、第3回稲生町コンパクトタウン検討会が開催されました。

今回の検討会は、各自思いをつまみにメモタックに記入したものを模造紙に貼り付け、最後には分類して、グループ代表が発表するというワークショップ形式で会が進められました。第1回・第2回の検討会で話し合われた内容をもとにまとめられたいくつかのテーマに沿って、参加者からは多種多様な自由な意見が出されました。今号では、その検討会で出された意見を一部ご紹介します。



ワークショップの様子

南地区(稲生町一丁目～三丁目)

中通り構想

- ・つねりのある道をつくり自動車進入制限する市日・市場を開いたりイベントを開催する
- ・現在の空地を等価交換して寄せ集める住環境の整備
- ・グループホーム等高齢者用住宅の整備
- ・多世代が住める棟があるとよい
- ・共有(コミュニティ)空間の設置
- ・生活密着型商業
- ・不足業種を共同経営する
- ・一人暮らしも安心できるサポート体制を作る
- ・住民が生き甲斐の持てる場所の提供

中地区(稲生町四丁目～五丁目)

- ・商業環境の整備
- ・テーマある商店配列と回遊性の確保
- ・バイパス開通後の国道を活用
- ・裏側駐車場で連続性のある商店配置に

- ・店舗前の短時間駐禁解除
- ・時間消費型空間の整備
- ・家族で利用できる飲食店街
- ・アミューズメント施設が欲しい
- ・中庭形式で駐車場・広場などを設置し、国道から裏通りに抜けられるようにする
- ・集客核店舗誘致
- ・半分は地元小売店のテナントを入れる
- ・食品スーパーが欲しい
- ・誘致の際は、借地料等条件を明確にさせる

北地区(稲生町六丁目～八丁目)

- ・生活関連公的施設の誘致
- ・図書館・美術館・多目的ホール
- ・商店街循環ミニバス
- ・共同住宅の一部にデイケアセンターを
- ・池など水のある憩いの空間の整備
- ・複合的土地建物利用
- ・書店や衣料専門店を入れた複合ビル建設
- ・バラエティショップ・手作り工房即売所
- ・二層式駐車場の併設
- ・住環境と広場などの共有空間整備
- ・土地を分合交換し、街区内の土地用途再編

この他にもたくさんの意見が出されましたが、次の第4回稲生町コンパクトタウン検討会では、それらの意見から考えられる事業をみなさんと検討することになります。



グループ代表の意見発表の様子